

演題：緊迫する北朝鮮軍事情勢

講師：軍事・情報戦略研究所長（軍事アナリスト）西村金一

講演概要：

北朝鮮は現在、米国に届く ICBM を開発し、核兵器小型化の最終段階に入っている。米国と北朝鮮の2国間関係では、軍事的危機に突入か交渉かのぎりぎりの状態だ。ここにきて、交渉を始め合意に達するのか、金正恩委員長を暗殺する斬首作戦を実行に移すのか、あるいは南北間で紛争になり、北朝鮮と米韓がミサイルを撃ち合うような戦いになるのか。その予測分析結果を、下の順序で解説する。

1. 北朝鮮の核開発と実験

- (1) 6回までの核実験をどうみるか
- (2) 核兵器小型化の現実性
- (3) 水爆の現実性

パワーポイント例



出典：北朝鮮労働新聞の写真を用いて西村が解説を加えた

2. 北朝鮮ミサイル実験と能力

(1) ICBM開発の分析

ア 火星 12 号・14 号の実験

多弾頭ミサイル実験か？

イ KN-08 と KN-14 ミサイルはどうなったのか

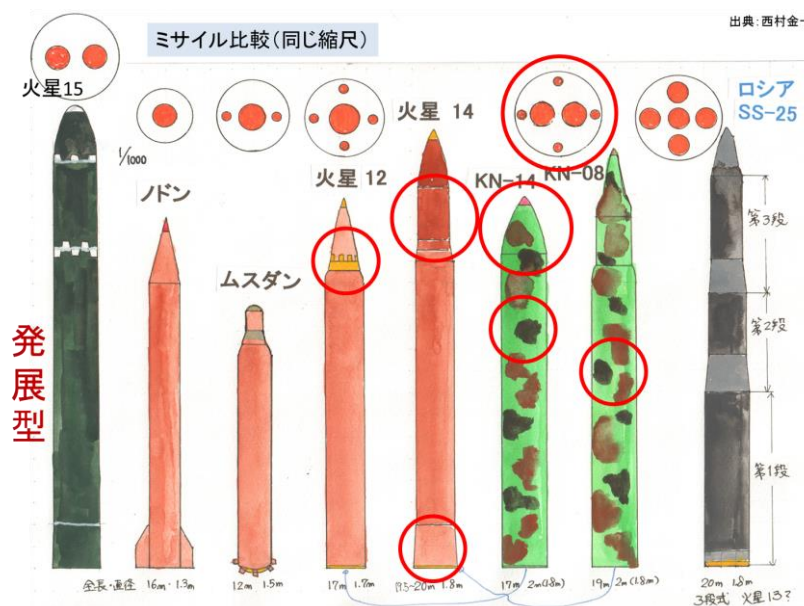
火星 12 号・火星 14 号との違い

ウ 火星 15 号の実験

今年の 4 月 15 日の軍事パレードに出現したミサイルは

火星 15 号の特色は

パワーポイント例



出典：各種資料により、西村が作成したもの

縮尺は同一である。○印は、火星 15 号に用いられた技術である。

エ 固体燃料の開発、多弾頭ミサイル開発

固体燃料の開発はどこまで進んでいるのか

多弾頭ミサイルの開発はどこまで進んでいるのか

(2) 北朝鮮の対艦ミサイルと対艦弾道ミサイルの現状分析、

特に能力分析、戦い方 (イメージ)

ア 対艦ミサイルとは

イ 対艦弾道ミサイルの狙いと実現の可能性は

- (3) 北朝鮮潜水艦発射弾道ミサイルの現状解析と将来予測、特に能力分析
潜水艦発射弾道ミサイル（SLBM）の能力
どこから発射されているのか
弾道ミサイル潜水艦の能力

3. 北朝鮮軍と米軍等がもし戦えば

- (1) 軍事力比較
- (2) 日本海における、米軍、北朝鮮の動き
- (3) 米軍斬首作戦の予想
- (4) 航空戦闘と海上戦闘
- (5) 北朝鮮が砲撃するとどうなるのか
- (6) 特殊部隊の作戦
- (7) もし、北朝鮮軍が軍事境界線を越えて攻撃すると

4. 米朝交渉の難しさ

- (1) 北朝鮮は、合意を守るのか
- (2) 北朝鮮とはどのような国家なのか、過去を振り返って見ると

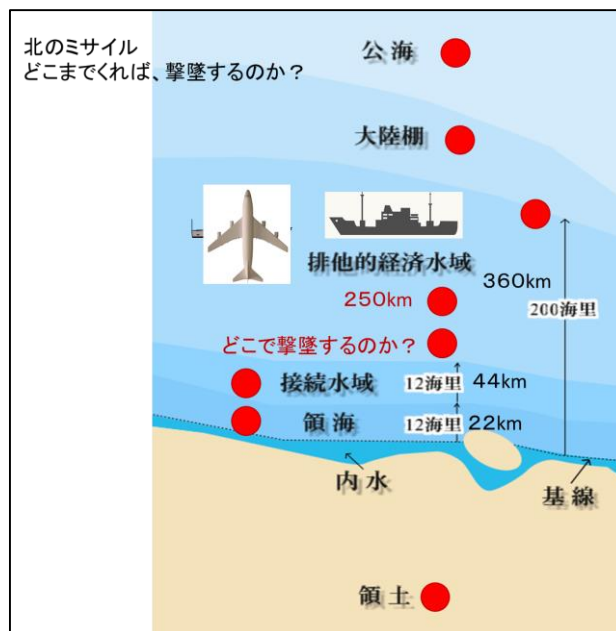
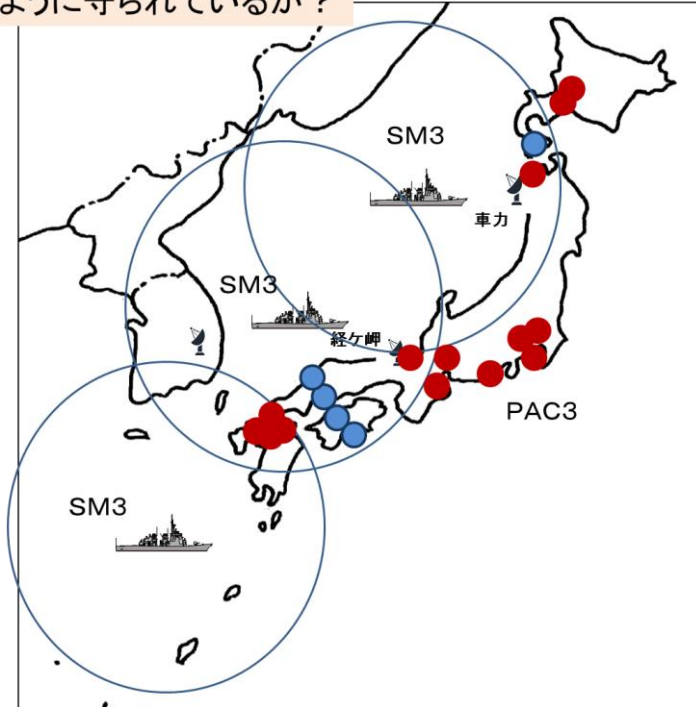
5. これから生起するのは何か

- (1) 米国の北朝鮮へのミサイル攻撃
- (2) 米国の斬首作戦（金正恩体制崩壊）実行
- (3) 北朝鮮の暴発
- (4) 日本海での軍事的偶発事案
- (5) 北朝鮮の核・ミサイル放棄

6. 日本への影響は

パワーポイント例

通常どのように守られているか？



日本はどうか？
日本は何もしないって、「あり」ですか？

